

花実の森 活動報告(2025 年 5 月)

第158号

<div>活動日</div> <div>2025 年 5 月 18 日(日)</div> <div>時間</div> <div>8:30~12:30</div>	<div>天候</div> <div>(曇り)</div>	<div>記録者</div> <div>(菅田)</div>
<div>参加者氏名</div> <div>スタッフ15名</div> <div>応募家族5</div> <div>18名</div> <div>内子ども9名</div>	<div>(スタッフ) 花実の森：田路、樋口、菅田、中原、南木、</div> <div>(本部) 辻本、片山、南木、竹内、小山、森下、能、山本</div> <div>(救急ボランティア) 北条、中村</div>	
<div>今回実施した内容</div> <div>写真記録</div>	<div>親子カブトムシ生育観察会(2025 年第 1 回 幼虫観察)</div> <p>親子自然環境体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て実施した 2025 年度『親子カブトムシ生育観察会』。年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り学ぶイベント。</p> <p>今回は、今年度の 1 回目「春の里山に育つカブトムシ幼虫観察会」として、冬眠を経て一回り大きく育った 3 齢幼虫を観察してもらった。</p> <p>その後、春の里山観察として、草木のいろいろな葉っぱ集めをしてもらった。</p> <p>「いろいろな形の葉っぱ」「いろいろな色の葉っぱ」「とげがあったり産毛のある葉っぱ」「いいにおい、臭いにおいのする葉っぱ」・・・など目的を持って散策することで、日頃見過ごしがちな身近な草木の観察をしてもらった。</p>	
<div>   </div> <div>参加者受付も始まる</div> <div>   </div> <div>はじめのあいさつ ようこそカブトムシが育つ花実の森へ</div>		



昔の里山と今の里山の話、この里山に棲むカブトムシの暮らしの話などのお勉強



カブトムシの一生についてもしっかり知っておこう。



さあそれでは今からカブトムシの幼虫が棲んでいるところへ向かうよ。



冬眠を経てさらに大きくなっていると思える幼虫の生育場所。さあ しっかり育っているかな？



子どもたちにも手伝ってもらい、イノシシ除けの木枠を撤去。



幼虫を傷つけないようにやさしく探すんだよ。



いたいた！どんどん見つかる。見つけた幼虫は一旦ケースへ。
わあ 体の色が茶色っぽくなったのもいたね。これはもうすぐさ
なぎになるための部屋（蛹室）をつくる準備ができた身体なんだ
よ。優しく戻してあげよう。

見つけた幼虫を観察しながら“カブトムシクイズ”に挑戦



カブトムシクイズ

ぜんぶ正解して
《カブトムシはかせ》になろう!

いえ～い
やったあ

カブトムシクイズ 3

カブトムシのメスは何個のたまごを産む?

① 1個

② 10個くらい

③ 30～50個くらい

④ 100個くらい

カブトムシクイズ 7

1匹の幼虫が、さなぎになるまでに
食べるふよう土はどれくらい?

① 1リットル ② 2リットル ③ 3リットル

カブトムシクイズ 9

カブトムシは
【どこでいきをしている】
のかなあ

① もちろん口で ② いやいや口
いきしてるんだ じゃあないよ

新緑の里山を観察しながらいろいろな草木の葉っぱを集めてみよう



ここからはいろいろな木の葉を集めてみよう。
いろいろな形の葉、いろいろな色をした葉、とげのある葉、産毛のある葉、匂いのする葉、葉の付き方にもいろいろあるから見つけよう。

見つけてきた葉っぱを分類して貼り付けていく



いろいろ見つかったかな・・・



レジ袋に入れ、集めてきた葉っぱを項目ごとに分類し、貼り付けてゆく。



完成です！
秋にはまた違った里山の観察ができるので
また来てください。



スタッフのみなさんもお疲れさまでした。
事故もなく無事に終わりました。夏の成虫探し
にも来てもらいましょう。